

12月の衛研検査情報

～トピックス～

魚介類中の動物用医薬品検査結果（その2）

平成23年10月に食品専門監視班が収去した、市内に流通するエビ5件（うち冷凍食品2件）及びイカ3件（うち冷凍食品2件）の計8件について、抗生物質のテトラサイクリン系（3項目）及びクロラムフェニコール、並びに合成抗菌剤のニトロフラン類（3項目）及びエンロフロキサシン等（28項目）について計35項目の検査を行いました。

主な結果 すべての項目で不検出でした。

横浜市における自殺の現状（平成22年）

日本の自殺者数は、平成10年に一挙に8,000人余り増加して3万人を越え、その後も高い水準が続いています。平成18年10月、国を挙げて自殺対策を総合的に推進することにより、自殺の防止を図り、あわせて自殺者の親族等に対する支援の充実を図るため、「自殺対策基本法」が施行されました。また、この法に基づき、平成19年6月には、政府が推進すべき自殺対策の指針として「自殺総合対策大綱」が策定されました。

横浜市でも自殺対策に係る庁内の密接な連携と協力により、自殺対策の推進を図るため、平成19年9月から横浜市庁内自殺対策連絡会議が設置されています。

感染症・疫学情報課では、横浜市こころの健康相談センターを通じて神奈川県警より「平成22年中の横浜市における自殺者」のデータの提供を受け、解析しましたので、その概略を報告します。

詳細は、<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/health-inf/zisatsu/>に掲載しています。

主な結果 平成22年の横浜市における総自殺者数は、746人（男性：529人、女性：217人）で、男性が70.9%を占めました。21年の総自殺者数（663人）と比べ、12.5%増でした。

衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページは、感染症情報や保健情報、薬事情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報等を提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



主な結果 平成23年10月は、マイコプラズマ肺炎、ポリオ、アメーバ症（主にアメーバ赤痢）、RSウイルスに関するページのアクセスが多くみられ、総件数は194,425件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページを御覧ください
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/inspection-inf/>



横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査等の結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。